

新型コロナウイルス感染症患者発生時における診療継続計画 追加更新資料

2020年度秋以降の第2波に備えて対策の変更を検討しました。2020年度春の第1波において3F病棟を感染対策病棟とし、ゾーニング・アクリル板・見守るカメラ・隔壁ビニール・災害時ポータブルトイレ・災害時洗面を設置し、個室対応にて患者さんの診療を行いました。4F病棟では通常の急性期透析医療・内科医療を行いました。その結果として大幅な患者数減少・病院収入が低下しました。人件費の増加とPPE等感染対策物品の購入・換気増強工事を行い、かなりの赤字になることが推定されています。

12月以降再度第2波に備えた対応を行うにあたり、一般の透析患者さんの一部をなるべく多く3F病棟にても受け入れる体制が必須であると考えられました。そこでレベル別の配置図を想定しました。

3F病棟においてはビニールで仕切られた状況においても患者さんを観察するため見守るカメラを新設しました。プライバシーの配慮は十分行っておりますが、このことに同意された方のみの入院としました。

《ゾーニングカラーの説明》

- ・**レッド**: 新型コロナウイルス感染症陽性患者病室
- ・**ピンク**: 新型コロナウイルス感染症疑い患者病室
- ・**イエロー**: 新型コロナウイルス感染症陽性または疑い患者の導線
- ・**黄緑**: 検査等にて陽性または疑い患者がEV使用時に時限的にイエローになる場所
- ・**グリーン**: 一般患者病室、感染の危険性が無い安全地帯

《マークの説明》

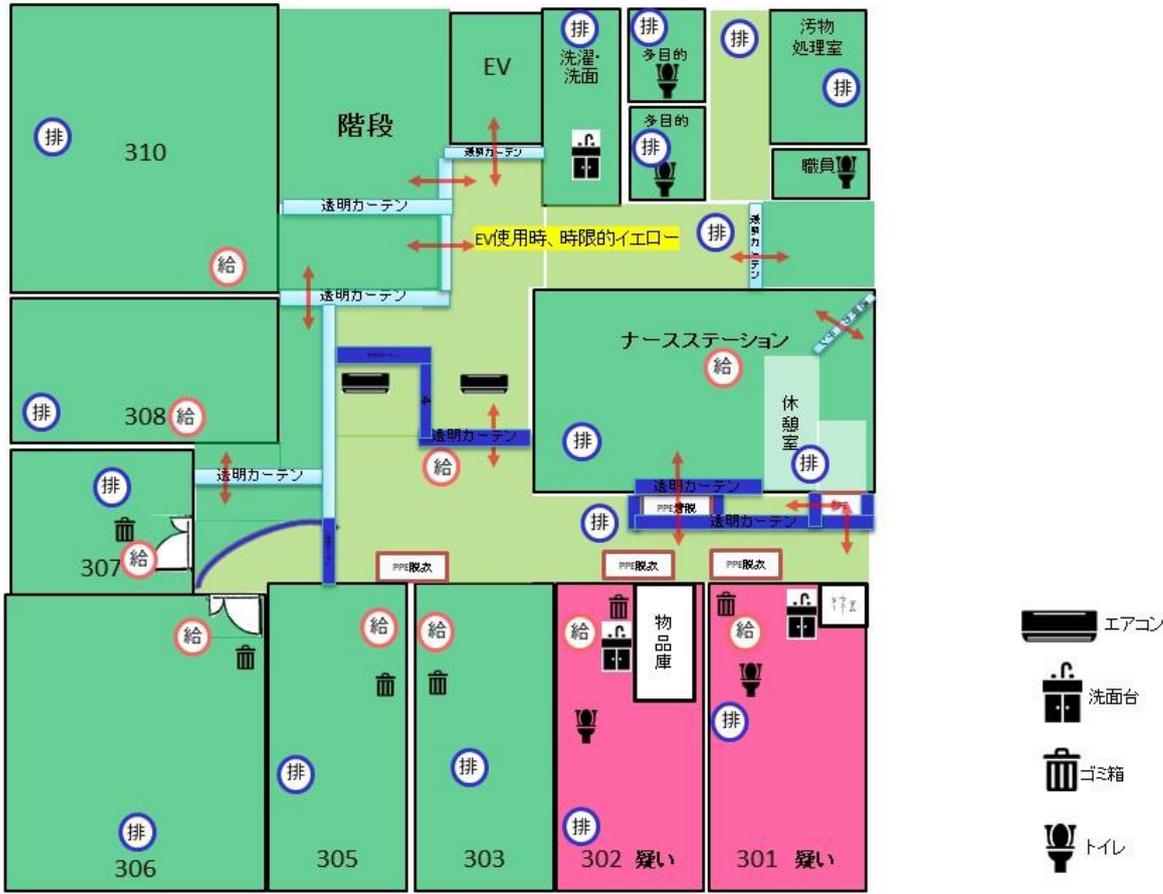
⊖・・・排気口 ⊕・・・給気口

《新型コロナウイルス感染症陽性または疑い患者の移動》

CT検査などにて待合ホール・廊下・エレベータを使用する場合は、新型コロナウイルス感染症陽性または疑い患者さんを、特性ビニールカバーをストレッチャーおよび車椅子にかけることで移動を行います。

【レベル1】

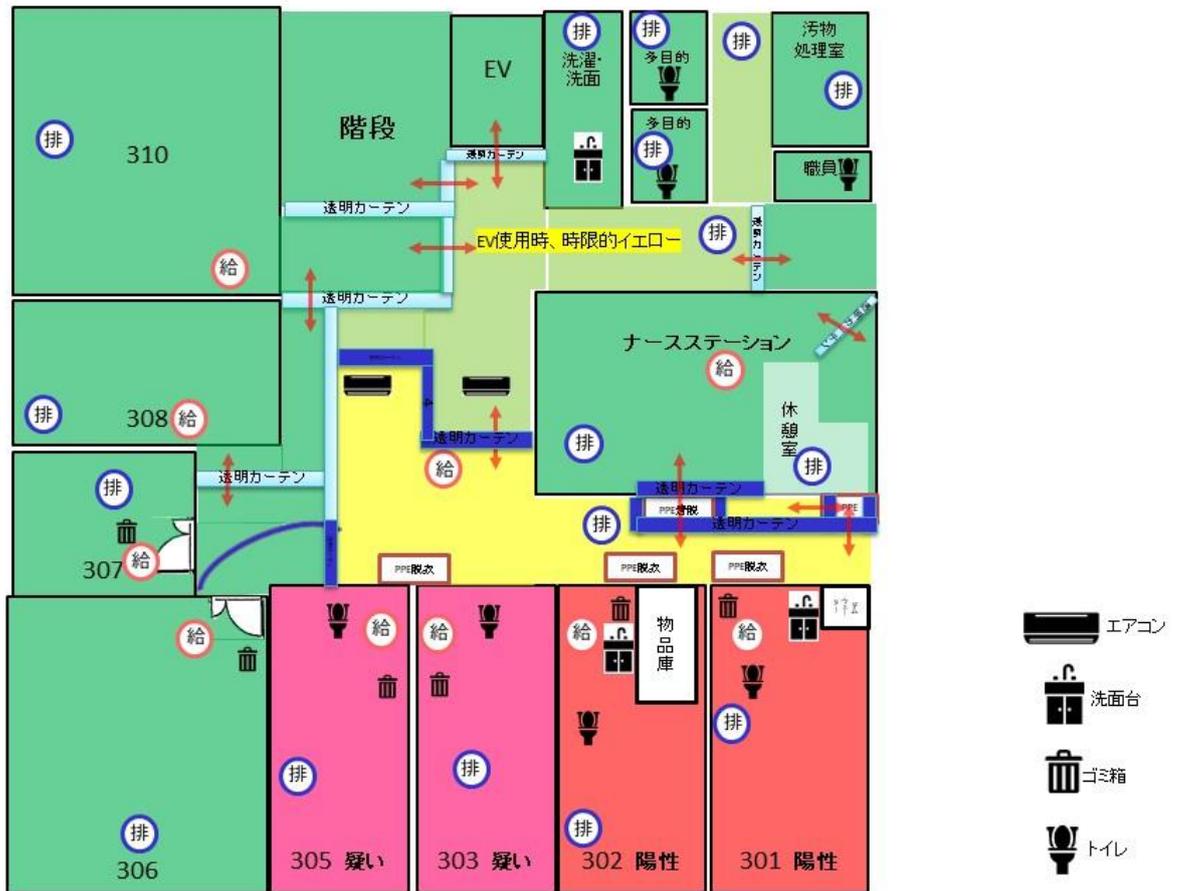
- 新型コロナウイルス感染症 0 人
- 新型コロナウイルス感染症の疑い患者 1~3 人
→301・302 号室にて対応。
透析は病室内にて行う。
- 急変対応は 307 号室にて行う。
- 一般患者は 303~310 号室を使用



【レベル1】3F病棟ゾーニング図面

【レベル2】

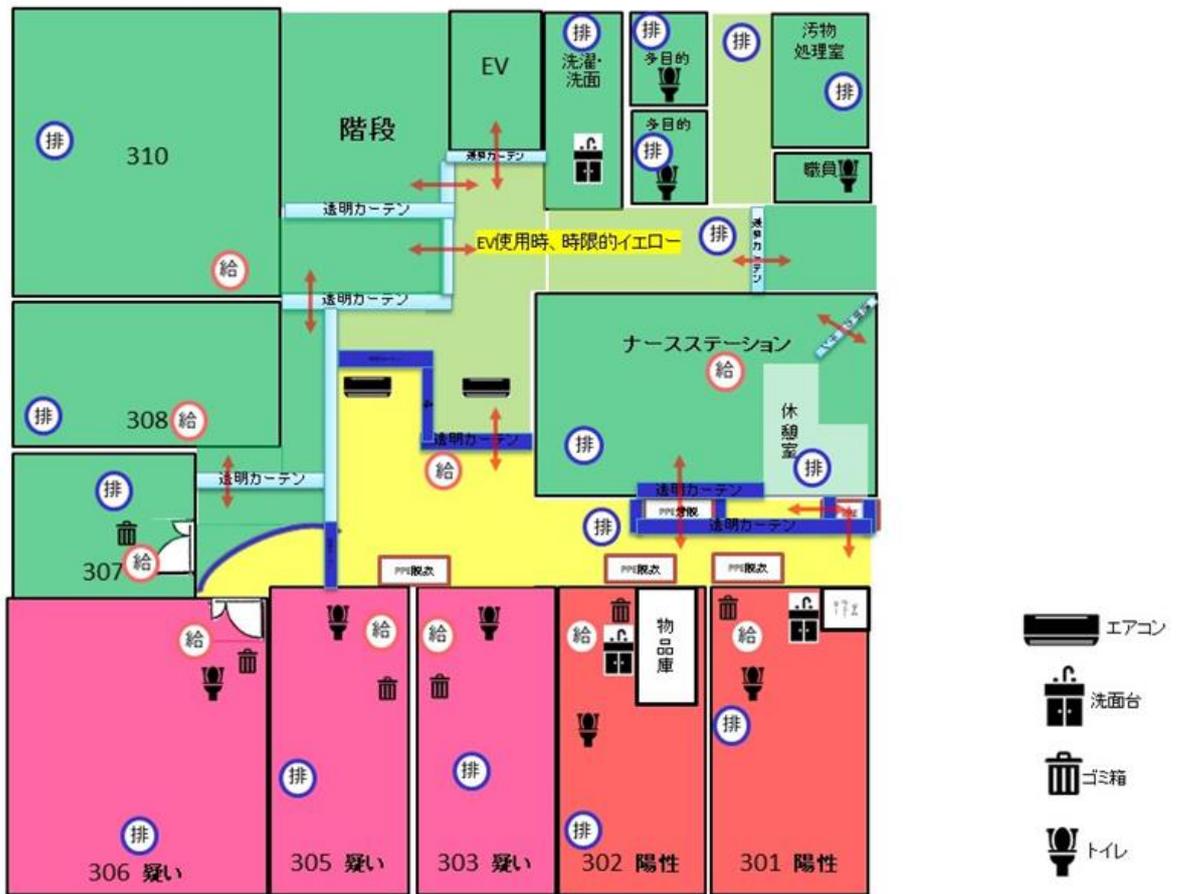
- 新型コロナウイルス感染症 1~3 人
→301・302 号室にて対応。
透析は病室内にて行う。
- 新型コロナウイルス感染症の疑い患者 1~2 人
→303・305 号室にて対応。
透析は 3F 透析室ガラス部屋にて行う。
移動はイエローの導線を使用する。
- 一般患者は 306~310 号室を使用
- 307 号室は処置部屋



【レベル2】3F病棟ゾーニング図面

【レベル3】

- 新型コロナウイルス感染症 1~3 人
→301・302 号室にて対応。
透析は病室内にて行う。
- 新型コロナウイルス感染症の疑い患者 1~3 人
→303・305・306 号室にて対応。
透析は 3F 透析室ガラス部屋にて行う。
移動はイエローの導線を使用する。
- 一般患者は 307~310 号室を使用



【レベル3】3F病棟ゾーニング図面

【レベル4】

○新型コロナウイルス感染症 1~15人

→301~307号室にて対応。(307号室は陽性または処置部屋として対応)

透析は3F火木土3部透析にて行う。

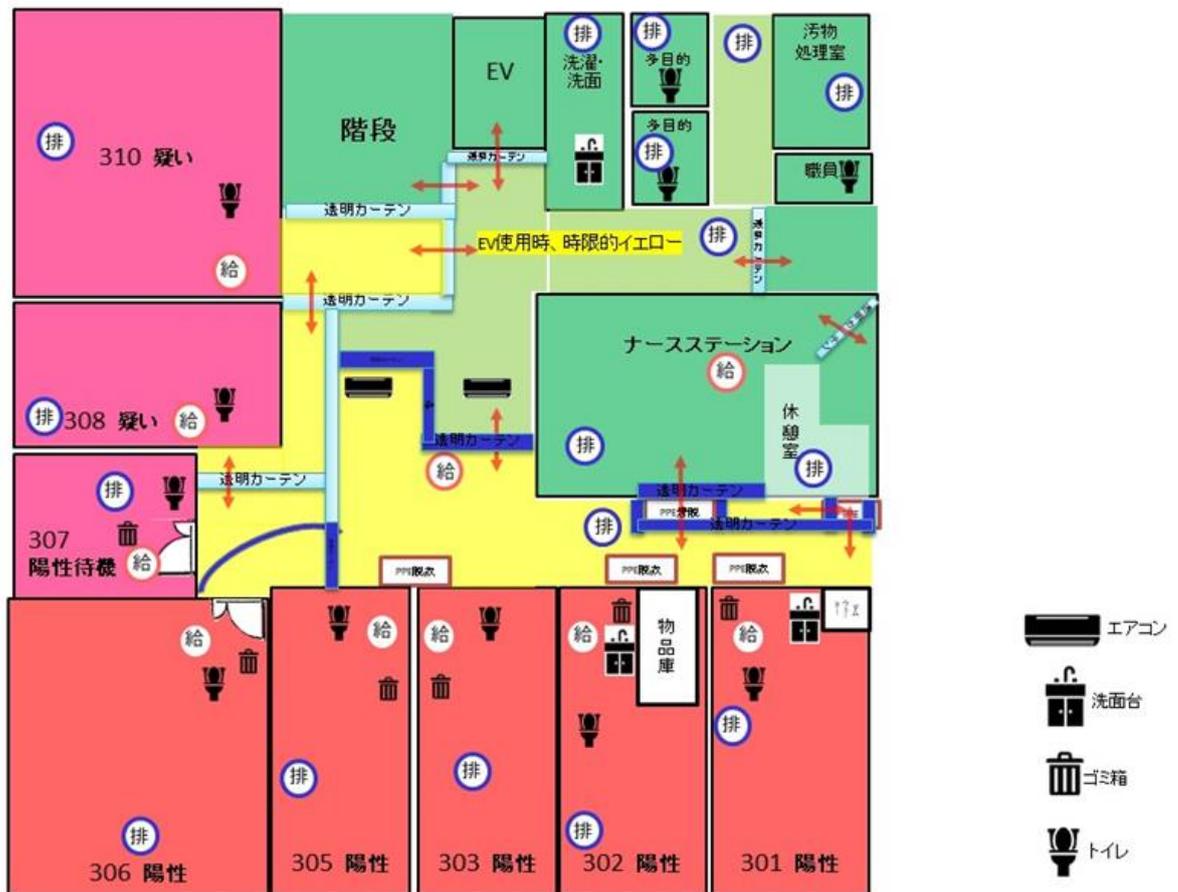
○新型コロナウイルス感染症の疑い患者 1~3人

→307・308・310号室にて対応。(307号室は陽性または処置部屋として対応)

透析は3F透析室ガラス部屋にて行う。

移動はイエローの導線を使用する。

○一般患者は3Fでは受け入れず、4Fにて対応。



【レベル4】3F病棟ゾーニング図面